

## サービスラーニングからの学び

活動先：NPO 法人 もやい

### 1. 自分の成長と気づき

夏のサービスラーニング活動を通して、自分は様々な成長をしたと考える。活動する以前と活動後ではいくつか大きな違いがある。それは、他人の考えに頼りっぱなしでなく自ら考え、意見を主張するようになったことである。他にもいいアイデアがないかと自分で考え、より良い活動にしていこうと意識するようになった。活動以前では、誰かがアイデアを出してくれるのではないかと他人に甘えてばかりで自分ではあまり考えようとはしていなかった。他人の考えに同調しばかりの自分から自分の考えを積極的に発言し、グループの皆と協力して活動に取り組むようになった。

活動に対する自分の意識が活動以前ではとても低かったと考える。グループ内の打ち合わせなどをしていても、何回も何回もミーティングを行う必要があったのにもかかわらず行っていない。活動先であるもやいの職員の方々とミーティングでは、自分達の考えばかりを主張して相手方のことを考えずに一方的に自分達の都合を話していた。そこから、相手の立場に立って客観的に考え、相手の目線で行動するということができていなかったと考える。そして、活動を通して常に相手の立場に立って考えることやミーティングの重要性を学び成長したと考える。特に、ミーティングはとても重要なものになってくると考える。もやいの職員の方々とミーティングも重要であるが、グループ内でのミーティングを何回も何回も行うことの重要性も学んだ。活動では、グループ全員で参加することがないため連絡ノートなどを作成するなどして情報をグループで共有し、ミーティングを行い、皆で理解を深めることが重要であると考えた。また、自分だけでやりたいことをやるのではなく、周りの人と話し合い自分の考えを伝え協力していくことが必要である。

活動後のふりかえりをすることも必要である。その日の活動で終わるのではなく、次の活動に繋げていかなければならないからである。その日の活動をふりかえり、自分の改善点や問題点を見直したり、その日に設定した目標が達成できていたか振り返ったりすることが次の活動に繋がっていくことだと考える。このように、サービスラーニングの活動を通して活動以前の自分とは違い、様々なことを経験してきたことにより自分が成長したと考える。

### 2. 活動を通して見えてきたこと

サービスラーニングの活動を通して様々な社会課題が見えてきた。もやいでは、主にデイサービスと育児支援を行っている。私達は、活動で育児支援（託児）を担当させていただいた。活動の中で子どもたちと接し、社会課題が見えてきた。それは、子どもの教育である。子どもたちを見ていると、活動先の職員の話聞いていなかったり、活動先のイベントに参加せず音楽を聴いたり、食べ物で遊んでいたりとマナーの悪い子どもが多く

いた。私は、家庭での教育が十分にされていないと考える。普段の親の教育が不十分なために子どもたちがこのような行動をしてしまうと考える。現在の教育環境は、個人で塾に行ったり家庭教師を雇ったりと地域との関わりがあまり見られない。そして、テレビゲームなどの増加に伴い、外で友だちと遊ぶことが無くなり自分の家にこもり一人で遊ぶことが多くなった。私は、このような環境では体力面・精神面ともに十分に教育できない環境であると考えている。昔のように地域で子ども達を教育する環境が必要であると考えている。昔の教育環境は、もっと地域で協力しながら子育てをしていた。子供たちだけで外で遊んでいても、近所の人たちが親代わりをして怒ったり、教育したりして見守っていた。このような、地域ぐるみの子育てが必要であると考えている。また、子どもを育てる親に対してもサポートが必要である。子育て中の母親が、気軽に集まり、育児の悩みを相談できる場や若い母親同士の情報交換ができる場を提供していくことが重要である。そして、子育てのアドバイスなどもしていくことが必要である。

教育環境を整備することも重要だが他にも重要なことがある。それは、伝統・文化を子ども達に伝承していくことも重要であると考えている。もやいでは、夏休みを利用して毎日様々なイベントを行っていた。それは、子ども達に伝統・文化を伝えるという目的がある。私は、このように子ども達に伝統・文化を継承していく機会を作るとも重要であると考えている。現在の社会は、子ども達に伝統・文化を教えるということはあまり行っていない。そして、なによりも子どもたち自身が日本の伝統や文化に興味を持っていない。未来に日本の伝統・文化を残すという意味で、伝統・文化にふれあい、少しでも興味を持ってもらうことは重要である。ふれあう機会を多くするためには、地域の協力が欠かせない。知多地域には NPO 法人が多くあり、各 NPO 法人が連携していくことが必要であると考えている。NPO 法人が連携をとり、子ども達が伝統・文化に少しでも興味を持ってもらえるようなイベントをしていくことが必要である。また、国や市町村を巻き込んで取り組んでいくことが重要である。地域だけでは困難なこともある。特に、財政面ではどこの NPO 法人もかなり厳しい現状があるからである。

このような社会課題に対して、今後、私たちに何ができるのか活動を通して学んだことを活かして考えていきたい。